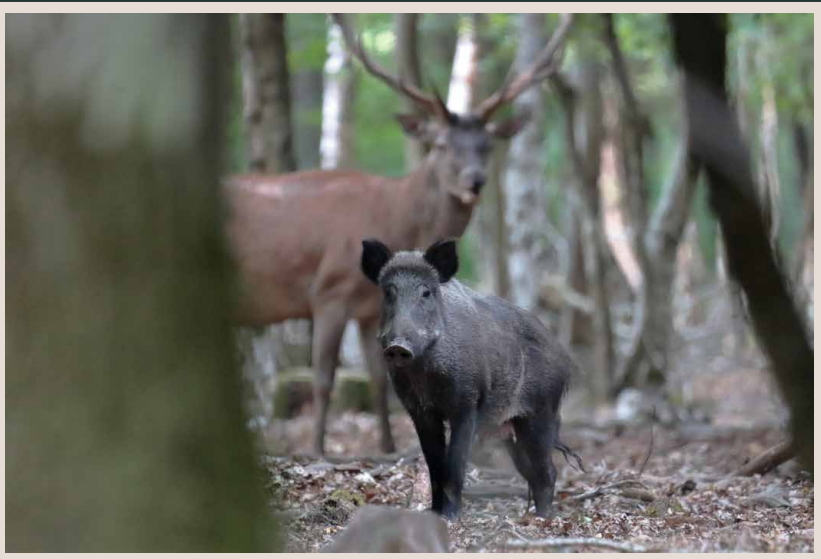


# 大久野通信 vol.15

事件です！



師走を目前に、大久野倶楽部の活動拠点も紅葉が美しく彩っています。里山を埋める落ち葉を集めたら・・・焚火で焼き芋ですよ。これを楽しみに、春に紅はるかの苗を植えて、夏には雑草を丁寧に取り除いて、時々試し掘りで成長を確認しながら、いよいよ収穫だねえと言っていた矢先に事件は起こりました。

## INDEX

- ・消えたサツマイモ
- ・捨てる神あれば拾う神あり
- ・冬野菜、順調なり！
- ・今後の展望

## 消えたサツマイモ

複数の試験条件を設定し、14畝に苗を植えました。畑一面の若芽は何度かシカの被害を受けましたが、その都度対策を行いました。最終的には全面にネットを掛け、大事に大事に育てた結果、大量収穫を予感させる状態で収穫時期を迎えておりました。じっくり時間を掛けて焼くことで蜜をしみ出させる匠の技をイメージし、さあ収穫にと臨んだ土曜日、目を疑う光景が・・・。犯人は、イノシシです。鉄柵を捲り侵入、あとはやりたい放題、紅はるかは一つ残らず消えてしまいました。



収穫待ちの紅はるか



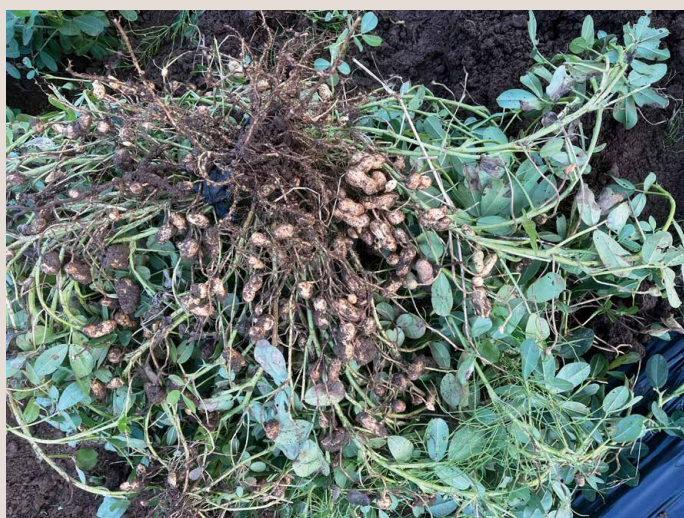
まるで耕作前に戻ったかの如く

## 捨てる神あれば拾う神あり

サツマイモ畑の隣では、落花生を育てていました。初挑戦で、どの様に落花生が成るのかも無知でしたが、思いのほか順調に生育しました。こちらはイノシシに荒らされることもなく収穫、洗って茹で落花生に、干して焙煎にと、初体験できました。



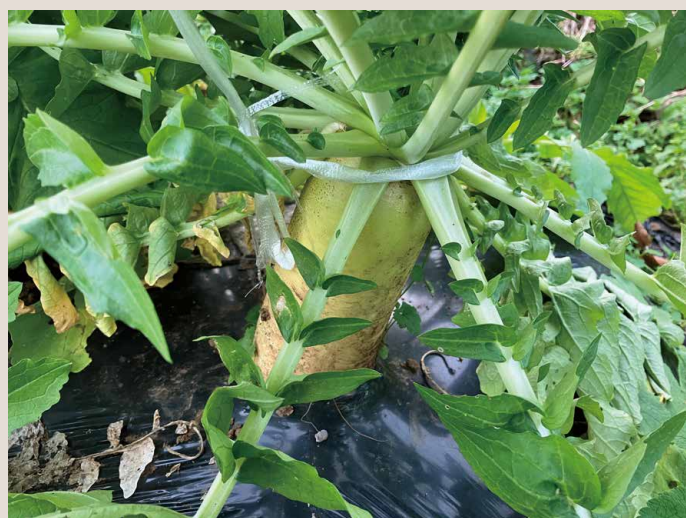
収穫前の落花生畑



掘り出した落花生

## 冬野菜、順調なり！

昨年の反省を踏まえ、植付時期を早め、間引きも念入りに行った結果、冬野菜は順調に生育しています。苦節2年、大根と白菜は、肥料の性能評価に耐えるレベルにはなりました。とは言え白菜は、看過できないレベルの虫食いが発生しています。無農薬でも虫の被害が発生しない方法は無いのか・・・今後課題を残してくれています。



立派に育った大根



虫食いが惜しい白菜

## 今後の展望

RBS ゴールド農業実証として始めた週末農業ですが、厳しさや奥深さを痛感しています。スーパーに並ぶ見た目も味も素晴らしい野菜たちは、様々な苦難を乗り越えたチャンピオンなのだ改めて感じます。我々の力作、お世辞にも商品価値は語れないものの、3年弱で漸く収量比較や食味試験などはできる様にはなりました。但し、価値向上の取り組みを諦めた訳ではありません。Vol.14では畑を取り巻く里山の廃材活用を宣言しました。早速、伐採したヒノキの葉を集めてみました。アロマとしても知られるヒノキですので、作業中は心地よい香りが漂います。防草用マルチの代替として、まずは畑に撒いてみます。杉やヒノキは防虫や抗菌作用があるそうなので、作物の虫食いが防げるのでは？といった淡い期待も抱きつつ、果たして何が起るのか、何も起らないのか・・・。一方で、有効成分も抽出して散布も試みます。「考えるだけでなく、先ず動いてから考える」、この姿勢で大久野倶楽部は今後も取り組みを継続します。